

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	マラウイ中部リロングウェ県マリリ地区における保健・医療・衛生及び栄養状態の改善を通じて、マラウイ人専門家の育成を図り、人々が健康的な生活を営めるよう、持続的な村落内医療支援モデルを構築する。
(2) 事業内容	中間報告対象期間：2013年12月13日～2014年4月30日 (イ)マラリア対策 ➤ マラリア一斉検査：参加者590名に対し、簡易血液検査と陽性者に対する治療を実施。 ➤ 蚊帳使用状況のモニタリングと正しい使用に関する指導（2月24日～3月6日）。 ➤ マラリア予防教育活動（3月17日～21日、事業地全域対象、約260名が参加）。 (ロ)住血吸虫症対策 ➤ 下記の（チ）巡回診療で症状を訴えた7名の患者に対し治療を実施。 (ハ)母子保健活動 ➤ 前フェーズで設立した母子保健委員会に対して母子保健に関する知識の再確認と、活動の振り返りを目的とした研修を実施。 ➤ 母子保健委員会による自主的な妊婦登録活動により、新たに65名が登録された。 ➤ 毎月1回村落内で妊婦健診が実施され、のべ91名の妊婦が受診。 ➤ 毎月2回母親学級を開催。のべ130名の妊婦が参加。妊娠・出産に関わる事柄に関する講義、及び栄養バランスに配慮したメニューに基づいて料理講習会が実施された。 (ニ)HIV/AIDSの感染予防活動 ➤ 定期的なHTC（HIV/AIDS Testing & Counseling）の実施。合計310名が受診。 ➤ HTCにおける、HIV/AIDSの予防啓発教育の実施。 (ホ)安全な水の確保 ➤ ウォーターポイントガーデン（WPG）¹、及び井戸管理委員会の活動モニタリングの実施。 (ヘ)公衆衛生改善活動 ➤ エコサン肥料と尿の使用についての啓発を目的としたデモンストレーション農地を設置。このデモ農地を活用したワークショップを実施し、マラウイ政府の農業普及員や村長、村民約100名が参加。 ➤ 前フェーズで建設したエコサントイレ80基に対し、使用状況のモニタリングを実施。村落ボランティアによる「エコサントイレプロモーター」を組織し、村民自身でエコサントイレのモニタリングを実施する体制を整えた。 ➤ 今フェーズ後半から開始されるエコサントイレ建設に向け、改良型エコサントイレの建設ワークショップを実施中。

¹ WPG(Water Point Garden): 井戸の周辺に果樹を植林し、井戸の余り水を有効活用するもの。果樹からの収益は、井戸の維持管理費として使用される。

	➤ 月に2回健康教育ワーキンググループを実施し教材を作成後、巡回診療などで健康教育を実施。 (ト)栄養改善活動 ➤ 6か月～2歳児を対象とした栄養調査の実施。 ➤ 前フェーズで組織した栄養改善委員会に対し、栄養改善に関する知識の確認、今後の活動強化を目的として講習会を実施。 ➤ 上記の調査より栄養不良児や問題家庭を抽出し、保健調査員及び村落内栄養改善委員会メンバーとともに家庭訪問を実施。 ➤ モリンガの植林状況及び、モリンガ料理の定着率を確認するためにモニタリングを実施。 ➤ モリンガビジネスを実施するグループを設立。モリンガ製品製作ワークショップなどを実施後、モリンガ製品製作、販売活動が開始された。 (チ)巡回診療 ➤ 定期的に巡回診療が実施され、3,013名の患者を診察。巡回診療には当会専門家の長谷島医師及び幕内看護師が従事し、現地医療者(のべ41名)とともに診療を実施した。 ➤ 巡回診療の結果を分析し、問題患者を抽出、家庭訪問を実施するとともに、明らかになった問題点が(ヘ)の健康教育ワーキンググループと共有され、健康教育の教材作成に反映された。 (リ)村落内救急搬送体制の導入 ➤ 前フェーズで設立し救急自転車の運営を移管した、救急自転車委員会に対し、定期的な運営モニタリングを実施。																																																				
(3) 達成された効果	申請書に基づいた事業の成果に関し、以下の表に示す。 <table><tr><td colspan="4">(イ) マラリア対策</td></tr><tr><td colspan="4">成果:事業地におけるマラリア患者数の減少及びマラリア予防手段の定着</td></tr><tr><td>指標①:蚊帳普及率</td><td>当初目標 90%以上</td><td>実績 90%</td><td>達成度 100%</td></tr><tr><td>指標②:全住民の蚊帳使用率 ※誤使用数件に対し今後指導を行う</td><td>当初目標 80%以上</td><td>実績 80%</td><td>達成度 100%</td></tr><tr><td>指標③:住民のマラリアー齊血液検査時の有病率</td><td>当初目標 35%以下</td><td colspan="2">事業終了時に評価</td></tr><tr><td colspan="4">(ロ)住血吸虫症対策</td></tr><tr><td colspan="4">成果:住血吸虫症患者数の減少及び予防手段の定着</td></tr><tr><td>指標:巡回診療時における住血吸虫症の患者数</td><td>当初目標 半減</td><td colspan="2">事業終了時に評価</td></tr><tr><td colspan="4">(ハ)母子保健活動</td></tr><tr><td colspan="4">成果:母子保健活動の定着</td></tr><tr><td>指標①:母親学級の開催頻度</td><td>当初目標 月2回</td><td>実績 月2回</td><td>達成度 100%</td></tr><tr><td>指標②:母親学級での理解度</td><td>当初目標 半数が理解</td><td>実績 過半数が理解している</td><td>達成度 100%</td></tr><tr><td>指標③:事業地における総出産数に対する自宅或いは伝統的産婆の分娩介助による出産の割合</td><td>当初目標 事業開始時から半減</td><td>実績 事業開始時に30%に対して11.5%</td><td>達成度 130%</td></tr></table>	(イ) マラリア対策				成果:事業地におけるマラリア患者数の減少及びマラリア予防手段の定着				指標①:蚊帳普及率	当初目標 90%以上	実績 90%	達成度 100%	指標②:全住民の蚊帳使用率 ※誤使用数件に対し今後指導を行う	当初目標 80%以上	実績 80%	達成度 100%	指標③:住民のマラリアー齊血液検査時の有病率	当初目標 35%以下	事業終了時に評価		(ロ)住血吸虫症対策				成果:住血吸虫症患者数の減少及び予防手段の定着				指標:巡回診療時における住血吸虫症の患者数	当初目標 半減	事業終了時に評価		(ハ)母子保健活動				成果:母子保健活動の定着				指標①:母親学級の開催頻度	当初目標 月2回	実績 月2回	達成度 100%	指標②:母親学級での理解度	当初目標 半数が理解	実績 過半数が理解している	達成度 100%	指標③:事業地における総出産数に対する自宅或いは伝統的産婆の分娩介助による出産の割合	当初目標 事業開始時から半減	実績 事業開始時に30%に対して11.5%	達成度 130%
(イ) マラリア対策																																																					
成果:事業地におけるマラリア患者数の減少及びマラリア予防手段の定着																																																					
指標①:蚊帳普及率	当初目標 90%以上	実績 90%	達成度 100%																																																		
指標②:全住民の蚊帳使用率 ※誤使用数件に対し今後指導を行う	当初目標 80%以上	実績 80%	達成度 100%																																																		
指標③:住民のマラリアー齊血液検査時の有病率	当初目標 35%以下	事業終了時に評価																																																			
(ロ)住血吸虫症対策																																																					
成果:住血吸虫症患者数の減少及び予防手段の定着																																																					
指標:巡回診療時における住血吸虫症の患者数	当初目標 半減	事業終了時に評価																																																			
(ハ)母子保健活動																																																					
成果:母子保健活動の定着																																																					
指標①:母親学級の開催頻度	当初目標 月2回	実績 月2回	達成度 100%																																																		
指標②:母親学級での理解度	当初目標 半数が理解	実績 過半数が理解している	達成度 100%																																																		
指標③:事業地における総出産数に対する自宅或いは伝統的産婆の分娩介助による出産の割合	当初目標 事業開始時から半減	実績 事業開始時に30%に対して11.5%	達成度 130%																																																		

(二) HIV/AIDS の感染予防活動			
成果：住民の HIV/AIDS 予防に関する知識の向上及び HIV/AIDS 検査や治療薬へのアクセス向上			
指標①：VCT (Voluntary Counseling and Testing) の実施頻度	当初目標 月に 1 回	実績 月に 1 回	達成度 100%
指標②：HIV/AIDS の予防法に関する知識がある住民の割合	当初目標 半数	事業終了時に評価	
(ホ) 安全な水の確保			
成果：事業地における安全な水の供給			
指標①：井戸建設基数	当初目標 20 基	実績 10 基	達成度 50%
指標②：安全な水にアクセスできる住民の数	当初目標 2,000 名 以上	実績 2,695 名	達成度 130%
(ヘ) 公衆衛生改善活動			
成果：持続的で衛生的なし尿処理設備と有機肥料の入手手段の提供			
指標：エコサントイレの建設数	当初目標 150 基	実績 80 基	達成度 53%
(ト) 栄養改善活動			
成果：モリンガの木の有効利用の定着			
指標①：モリンガの植林数	当初目標 2,000 本 以上	実績 13,800 本	達成度 690%
指標②：モリンガの木を所有する世帯が、定期的にモリンガの葉を料理に使用する割合	当初目標 50%以上	実績 42.4%	達成度 85%
指標③：モリンガ製品の販売実績	当初目標 週に MWK3,000	実績 MWK1,700	達成度 56.7%
(チ) 巡回診療			
成果 1：住民の疾患状況の把握及び傷病の早期発見・治療			
指標：巡回診療で診察する患者数	当初目標 年間 2,000 名	実績 3,013 名	達成度 150%
成果 2：日本人医療者とマラウイ人医療者との協働により、日本人医療者とマラウイ人医療者間での相互の技術移転が実施される			
指標：巡回診療に参加する現地医療者数	当初目標 30 名以上	実績 41 名	達成度 137%
(チ) 村落内救急搬送体制の導入			
成果：住民の医療機関へのアクセスが向上する			
指標①：自転車救急車を用いた村落内救急搬送体制の構築	当初目標 全事業地において体制が構築される	実績 全住民がアクセス可能な体制が構築された	達成度 100%
指標②：自転車貸し出し収入等による、村落内救急搬送体制の自立的な運営	当初目標 全事業地における自立的な運営	実績 5つのセクションのうち、4セクションで自立的に運営されている	達成度 80%

(4) 今後の見通し	事業の進捗に関しては概ね計画通りであるが、下記の点に関しては今フェーズ後半で特に強化していく予定である。 (イ) マラリア対策 蚊帳の正しい利用法に関する指導の強化を行う。 (ト) 栄養改善活動 モリンガの料理への活用に関する教育活動を強化する。また、モリンガビジネスグループの販売活動の強化支援を行う。 (リ) 村落内救急搬送体制の導入 運営に課題があるセクションの委員会に対しての組織強化支援を実施する。
-------------------	--